

学童クラブ「キッズステーションNARUTO」(徳島県鳴門市) が「ぼうさい探検隊マップコンクール」で入選

2年生から1年生へ！ 小学校から学童クラブまでの通学路の安全マップが審査員特別賞を受賞

日本損害保険協会 徳島損保会（会長：藤本 篤嗣・三井住友海上火災保険株式会社 四国東支店長）は、第22回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「審査員特別賞」を受賞した学童クラブ「キッズステーションNARUTO」（徳島県鳴門市）の1・2年生20名に対し、3月12日（木）に同クラブにおいて表彰式を実施しました。

今回のマップは、小学校から学童クラブまでの通学路の危険、例えば、むかし塩田であった高島が地震により液状化現象を起こすかもしれないことや、満潮に大雨が重なると水路が氾濫するかもしれないことなどについて、昨年度ぼうさい探検隊を経験した2年生が新1年生のために、一緒にまち探検をしてまとめたものです。また、マップには、新1年生でもわかりやすいように、マップ上にビニールを重ねて地震や水害による被害を表現するなど多くの工夫が凝らされています。

表彰式では、マップ作成の指導にあられた西上学童指導員、同じく佐藤指導員・斎藤指導員が見守る中、当協会徳島損保会の川口副会長（損保ジャパン社徳島支店長）から、子どもたちに表彰状および副賞が贈呈されました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携して、子どもたちの発達段階に応じた各種防災教育支援ツールの普及に取り組んでまいります。

マップ作成の指導にあられた西上学童指導員コメント

- ・学童が小学校から離れていて、安全に帰ってくるにはどうしたらよいかと考えていたところ、2年生が新1年生に横断歩道の渡り方を教えているのを見て、今年もまち探検・マップ作成をしようと思った。
- ・付近は道路が広く、車のスピードが早い。また、海に囲まれた低い土地は大雨が降ると水路が溢れる。むかし塩田であったこの地は埋め立て地なので、地震が起きると液状化のおそれもある。そういう危険なところを子どもたちが帰ってくるので、自分たちで危険を知って自分たちで自分を守ることができるよう、マップ作成に取り組んだ。

【マップ】2年生から1年生へ「あんぜんキッズたい」



平時（ビニールなし）



被災時（ビニールあり）

*ぼうさい探検隊とは

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。

今年度のコンクールでは、全国の407団体から6,665人の子どもたちが参加し、1,289作品が寄せられました。

【表彰式の様子】



徳島損保会 川口副会長 挨拶



表彰状贈呈



西上学童指導員



集合写真

(ご参考) 第22回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール 入選作品集

https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/archive/ctuevu0000005g3z-att/sakuhin_22.pdf